

Y01a インターネット天文学辞典：利用状況調査に基づく運用・コンテンツの改良

縣秀彦（国立天文台），桑田敦基（東京大学），岡村定矩（東京大学），半田利弘（鹿児島大学），インターネット天文学辞典編集委員会

インターネット天文学辞典は公開以来アクセス数は増加し、現在は毎月30万回近くのアクセス数となっている。利用状況を把握し、今後の改良に役立てることを目的に、公開から2年が過ぎた2020年6月10～30日に2種類のウェブ・アンケートを実施した。日本天文学会会員、日本天文教育普及研究会会員等、利用経験があると思われるユーザー層に、使い心地や改善要望などを聞いた（回答数237）。利用経験者からの総合評価は、4段階評定で好意的印象（とても良い+良い）が92%であった。一方、天文に関心はあるが、利用経験の有無が不確実な市民層に対し、PRを兼ねて利用経験の有無等を聞いた（回答数578）。利用の有無を尋ねたところ、使ったことがある人は本調査群においては4人に一人の割合で、天文コミュニティの外では、まだ知名度が低いと推察される結果となった。

編集委員会は、本調査に寄せられた要望・意見などを参考に委員の増員や、諸機能の追加、コンテンツの改良等を順次行っている。また、IAUを通じての海外への波及効果についても本講演では紹介する。